



アウンクル

上尾中央総合病院 広報誌

～愛し愛される病院を目指して～

VOL.24

平成22年 5月発行

院長就任にあたり

院長 徳永英吉

このたび、上尾中央総合病院第3代院長に就任いたしました徳永英吉です。平成7年4月に当院へ耳鼻いんこう科部長として赴任して15年余りが経ちました。その後、平成12年には副院長を拝命し、平成18年からは院長代理として、現理事長で在られます中村康彦第2代院長先生のもとで病院運営に携わってまいりました。初代院長である中村秀夫会長先生が掲げられた「高度な医療で愛し愛される病院」という崇高な理念のもと、営々と築き上げられた歴史を汚さぬよう精いっぱい精進してまいりますので、皆さま方のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

当院は、上尾中央医科グループ26病院、老人介護施設・学校など31施設の基幹病院として、そのフラッグシップとしての役割を果たすと同時に、上尾市を中心とした人口約60万人をカバーする診療圏における地域密着型の基幹病院としての役割を担っております。

今後も当院の責務を果たすべく、より一層の施設面での拡充を図っていく予定ですので、これまでと変わらぬ応援と協力をお願いして就任のご挨拶とさせていただきます。

やせられない人には、 共通の行動と思考法がある！！

“行動経済学”(*人間の非合理的な行動を経済や心理学を用いて解き明かそうとする学問)の観点から見ると、太ってしまう人や痩せられない人には、いくつかの共通した行動パターン、思考パターンがあると言われています。それでは、いくつかの例を挙げてみましょう。あなたは、当てはまるものがありますか??

確立をとらえまちがう

例 「太るのは体質だからしょうがない」

人間は物事の起こる確率をとらえまちがえたり、自分に都合よくとらえたりすることがあります。

価値の大きさをとらえまちがう

例 「体重が58Kgから61Kgに増えたら大ショック、61kgから64Kgに増えて中ショック、64kgから67kgに増えてはショックが小さい」

変化に対する人間の感覚はだんだんマヒしてきます。太り始めた時のほうが変化に敏感ですので、ダイエットのチャンスはこの時期です。

お金の価値を 実際の会計ではなく、 心の会計で測る

例 「食べ放題では
元をとろう、と思う」

食べなければ損という判断は心の中での損得勘定。いくら食べても一度支払ったお金は戻らず、元を取ることはできません。

物事の形(フレーム)に 影響される

例 「サイズが大中小とあったら、
いつも中を選ぶ」

自分に見合った量ではないのに、なんでも真中が安心と思ひ込む。



確証バイアス

例 「〇〇を食べるとやせる、と思ひ込む」

自分の中に結論があると、それにあつた情報ばかり集めてしまい、その結論に反する情報は、無意識の内に無視してしまいます。

基準が変わる

例 「1袋5本入りで300円のソーセージ。
10本入り400円、5本入り350円もある。
どれがいいか、あれこれ考え込む」

物事を選択する時、自分がなにを望むかの様々な基準があります。食材なら品質か、量が価格か。外食ならカロリーか、栄養バランスか、価格か。目的に沿う選択をする為には、あらかじめ優先順位を決めておかないと選ぶ時の基準が変わってしまいます。

ヒューリスティックバイアス

例 「自分の周りにいる太った友人・知人は結構元気だと思う」

物事を判断するとき、推論の過程を省略すると(=ヒューリスティック)客観性を失って判断を誤ります。

これらの行動や思考の非合理性に気付く事は、その人自身の人生や目的目標に最短距離で到達する道を見つけやすくすることにもつながります！！

地域医療連携の推進にご協力いただいている先生方

「地域医療連携とは？」

地域医療連携とは、地域の医療機関が自らの施設の設備や地域の医療状況に応じて、診療内容・医療機関の分担や専門化を進め、各医療機関が相互に円滑な連携を図り、専門的機能を最大限有効に提供することを目的としています。当院は、地域の医療機関との連携を推進しており、様々な医療機関と連携することで、より質の高い医療を効果的に地域の皆様に提供することが可能になると考えております。この医療連携にご協力いただいている医療機関をご紹介します。

中澤 医院

標榜科：内科 小児科

住所：上尾市柏座2-13-4
TEL：048-771-3747

■ 資格

日本内科学会
日本臨床内科医会
日本糖尿病学会



院長 中澤 貞夫

当院は、上尾駅西口徒歩7分の所に、昭和42年開業以来約43年間、内科・小児科系を中心に診療をしております。特に糖尿病・高血圧・脂質異常症等の生活習慣病の予防・治療に力を注いでおります。高度な専門的機能を持つ中核病院と、各医療機関が相互に円滑な連携を図ることが、患者中心の医療にとって必要なことだと考えています。

上尾市医師会を中心に運用される糖尿病連携パスに、全会員の皆様が参加されることを希望します。

当院での
検査機器他

- 1) 各X線検査（胸部・腹部等）
- 2) 超音波検査（頸動脈・腹部等）
- 3) 脈波図・心機図（血管年齢・PWV・ABI測定）
- 4) 中心血圧測定
- 5) 心電図
- 6) 眼底カメラ
- 7) 骨塩量測定
- 8) 神経伝達速度測定
- 9) その他（AED設置）

皆様へ 相互信頼

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30 診療開始 9:00~	●	●	●	●	●	●	
14:30~18:00 診療開始 15:00~	●	▲ 15:00~17:30	●		●		



松本 内科 医院

標榜科：内科 循環器科 糖尿病 小児科

住所：上尾市浅間台3-29-16
TEL：048-775-6351

■ 資格

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本動脈硬化学会会員



院長 松本 浩

当院は、昭和53年大石地区浅間台の住宅地に、地区の皆様の内科系家庭医をめざして開院しました。大学では循環器系の医局に所属し、動脈硬化症の原因である脂質代謝の研究を行いました。

開院後は小児から高齢者まで内科一般診療に専念し、予防接種等の公衆衛生業務にも携ってまいりました。最近話題のメタボ健診や生活習慣病の診療においては、糖尿病専門医の長女が糖尿病外来を担当し、一層充実してまいりました。また、各種予防接種においては、感染症患者と完全に隔離するため、週2日、特別に予防接種の時間帯を設けております。

皆様へ 微力ではありますが、初心を忘れずに、内科系家庭医として地域の皆様が安心して相談できる診療所をめざして、スタッフ一同努力してまいります。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:45	●	●	●		●	●	●
14:00~14:30		予防接種				予防接種 14:00~15:30	
15:00~17:45	●	●	●		●	● 16:00~16:45	

※ 金曜日に糖尿病外来有り



“躍動” 活気のある病院 前向きな姿勢

1. 患者の立場に立った医療の実践
2. 患者の安全確保と医療の質の向上
3. 医療提供基盤の再構築
4. 情報の共有化と業務改善
5. 人材育成と健全経営
6. 地域への役割と貢献

院長

上尾市観光協会より、「2009あげおイルミネーション」の写真が寄贈されました。院内各所へ掲示しておりますのでぜひご覧ください。

また、当院バレーボールチーム「上尾メディックス」が、09/10Vチャレンジリーグの結果報告を島村市長へ行い、激励のお言葉を頂きました。



写真は左から
中村会長・島村上尾市長・
中村理事長



当院は、日本放射線技師会による「医療被ばく低減施設認定」の認定を受けました。これは、

- ・無駄な検査をしていない
- ・検査は必要最小限の放射線量で済むように機器の管理を徹底している
- ・被ばくの影響を予測する為の組織・臓器線量の算出をしている

など高い意識を持って検査を行っている施設を審査し認定をするもので埼玉県では初であり、全国でも17番目の認定施設となっております。



医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

TEL.048-773-1111(代)

〒362-8588

埼玉県上尾市柏座1丁目10番10号

<http://www.ach.or.jp/>



編集 後記

いつも「アウンクル」をご覧いただきありがとうございます。当院では、4月1日より108名の新入職員が入職しました。

1日でも早く業務に慣れ地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので宜しくお願い致します。

今年度も病院理念の基「愛し愛される広報誌」を目指してまいりますので今後ともご愛読をお願い致します。

編集長 平田一雄

■発行:上尾中央総合病院 ■発行人:徳永英吉
■編集者:平田一雄 ■編集:広報部会
■内容に関するお問い合わせは 総務課広報係まで